



B6. 【特殊検査について】

- ・特殊検査（FACS, 炎症性サイトカイン、ゲノム解析など）

既存の検査では診断できない原因不明の小児急性肝炎も全体の半数弱程度あるため、研究的解析法による特殊検査への提出も考慮する。リンパ球など免疫応答性の過剰な活性化をみるために FACS で末梢血免疫表現型解析を行うほか、血中の炎症性サイトカインの解析を臨床研究実施施設で行う。

検体の採取と保存に関して：検体は治療前後など適切なタイムポイントで取得されたものを解析する必要があるため、詳細については個別にお問い合わせ下さい。

お問い合わせは下記連絡先 1へ、まずメールをお送り下さい。

その他、基礎疾患鑑別のため免疫学的、および遺伝子解析を臨床研究実施施設で行います。

1. 免疫解析連絡先：

国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

酒井愛子 lb-19sakai@hospk.ncgm.go.jp (直接メールでご連絡ください)

2. FACS 解析：筑波大学医学医療系小児科 029-853-5635

今川和生 imagawa-tuk@md.tsukuba.ac.jp

3. 遺伝子解析連絡先：名古屋市立大学 小児科 052-851-5511

戸川貴夫 t.togawa@med.nagoya-cu.ac.jp

★【症例相談時の検体保存についてのご案内】PDF→C2へ